

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 11日

事業所名 多機能型支援事業所Koikoi

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4	1		ほとんどの児童が車椅子にて狭く感じる。ベッドの配置を変えたりし、車椅子対応に適した方法の試行錯誤中
	2	職員の配置数は適切である	1	5			適切な人数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2			ほとんどの児童が車椅子の為、バリアフリー設備を整えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	1		毎朝業務改善の為に職員間で振り返りを行い、目標設定(全体・個別)を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2			定期的にアンケート調査を行ったり、送迎時も保護者と情報共有を行う事で、支援計画や療育内容に反映を心がけています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2			ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	1		第三者による外部評価は現在行ってないが、今後検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		県外から講師を招き、職員全体の研修を行っている。	職員全員に定期的に研修の情報提供をしている。毎年外部講師を呼び研修も行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			職員全体で話し合いをし、アセスメントを基に作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1			アセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1			誕生日会や各行事をチームにて実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3			年間スケジュールを基に、季節・催事イベントを活動に取り入れ、飽きが来ないように活動に繋げています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3			課題を設定しています。特に長期休暇は朝からの利用となり体方面でも気になるので、職員で事前に数回話し合いを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3			個別活動・集団活動の時間をそれぞれ設けています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3		毎朝必ず職員間でミーティングを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		終了後も職員間でミーティングしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1			支援記録や日報を記入し記録をしっかり取っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2			固定化しないよう、見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3			行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5	1			はい。又、参加した職員より全職員にも情報共有をし ケース会議を行っています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6				学校送迎時に児童の報告を受け、職員間で申し送りを しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	6				定期的に主治医との情報共有も行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	1			必要であれば情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	6				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	2			現在行えていませんが、今後検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	2		コロナ禍にてここ3年程行えていない。今後検討。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	4	1		コロナ禍にてここ3年程行えていない。今後検討。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				連絡帳も活用しながら伝えていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	5	1			コロナ禍にて行えていない為、今後は行っていきます。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				契約時に必ずご説明をしています。何か変更がある場 合、その都度お知らせを作成し配布しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	1			コロナ禍にて行えていない為、今後は行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	1			速やかに検討会を行い迅速に対応できるよう心がけて います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	1			公文の発行等を行っています/不定期ですが実施して います。
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			直接電話や連絡帳で伝達しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2		コロナ禍にて行えていません。今後検討

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			保護者への周知がきちんと出来ていない為、改めて保護者の方々へ周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			行動制限に関する同意書にてご説明をしています。オリエンテーション等でも説明。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			食物アレルギーの有無を家族や医師より聞き取り、個人の情報欄へ記入している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		1		ヒヤリハットがあった場合必ず記録に残し、職員間でも情報共有をし改善に努めています。